

コリント人への手紙第二 第3章 18節

「私たちはみな、顔のおおいを取りのけられ、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

ふとテーブルの上にある、ほとんど空になったテーパーポットを見たら、外の木立と雲と青空が映っていた。透明なガラスに映る景色は不思議な気がした。透明であればガラスを通り過ぎるのではないかと思う。しかし、風景を透明なガラスはとらえていた。もし、汚れていたポットなら澄んだ風景を見ることは出来なかつただろう。

私たちはみな、顔のおおいを取りのけられなければ、主の栄光を反映することはできません。私たちの汚れが取り除かれなければ主の素晴らしさを反映することはできません。ですから、顔のおおい、汚れを取りのけられて初めて主の栄光を反映する鏡とされるのです。

汚れた者から、その汚れを取りのけられ、透明な鏡となり主の素晴らしさを反映する者とされます。その変化は、私たちのちからによるのではなく、御霊なる主の働きによります。さらに、栄光を反映しながら、主に似た者へと変えられてゆきます。透明な鏡が受ける栄光です。